

倉吉市国民健康保険
医療費分析
【概要版】

平成31年3月
倉吉市健康福祉部保険年金課

1. 基礎統計

当医療費統計は、倉吉市国民健康保険における、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外・調剤レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均10,279人、レセプト件数は平均13,709件、患者数は平均5,822人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,173円となった。

基礎統計

		平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	
A	被保険者数(人)	9,807	10,048	10,094	10,159	10,197	10,258	10,311	
B	レセプト件数(件)	入院外	7,941	7,597	7,731	7,809	7,660	7,615	7,478
		入院	283	253	257	282	277	259	282
		調剤	6,058	5,821	5,908	6,046	5,851	5,796	5,650
		合計	14,282	13,671	13,896	14,137	13,788	13,670	13,410
C	医療費(円) ※	334,613,810	297,358,230	327,565,590	320,044,010	315,300,820	324,893,190	324,666,340	
D	患者数(人) ※	6,034	5,837	5,893	5,936	5,838	5,793	5,716	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	34,120	29,594	32,452	31,503	30,921	31,672	31,487	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,429	21,751	23,573	22,639	22,868	23,767	24,211	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,455	50,944	55,586	53,916	54,008	56,084	56,800	
B/A	受診率(%)	145.6%	136.1%	137.7%	139.2%	135.2%	133.3%	130.1%	
D/A	有病率(%)	61.5%	58.1%	58.4%	58.4%	57.3%	56.5%	55.4%	

		平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	10,383	10,432	10,480	10,567	10,615	10,279		
B	レセプト件数(件)	入院外	7,660	7,589	7,669	7,412	7,290	7,621	91,451
		入院	287	293	285	263	273	275	3,294
		調剤	5,825	5,739	5,860	5,673	5,535	5,814	69,762
		合計	13,772	13,621	13,814	13,348	13,098	13,709	164,507
C	医療費(円) ※	316,822,560	326,534,480	342,293,530	332,228,500	292,367,590	321,224,054	3,854,688,650	
D	患者数(人) ※	5,814	5,789	5,873	5,740	5,602	5,822	69,865	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	30,514	31,301	32,662	31,440	27,543	31,250		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,005	23,973	24,779	24,890	22,322	23,432		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,493	56,406	58,283	57,880	52,190	55,173		
B/A	受診率(%)	132.6%	130.6%	131.8%	126.3%	123.4%	133.4%		
D/A	有病率(%)	56.0%	55.5%	56.0%	54.3%	52.8%	56.6%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

2. 大分類による疾病別医療費統計

(1) 倉吉市国民健康保険全体

疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の18.3%を占めている。「循環器系の疾患」は医療費合計の15.2%、「精神及び行動の障害」は医療費合計の8.9%と高い割合を占めている。次いで「内分泌、栄養及び代謝疾患」も医療費合計の8.7%を占め、高い水準となっている。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「新生物<腫瘍>」「精神及び行動の障害」「循環器系の疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」等である。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	165,878,226	4.3%	10	16,188	9	3,257	7	50,930	9
II. 新生物<腫瘍>	696,813,397	18.3%	1	13,977	11	2,857	9	243,897	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,506,817	0.7%	15	4,883	16	969	15	27,355	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	331,905,662	8.7%	4	63,301	1	5,258	3	63,124	7
V. 精神及び行動の障害	339,109,504	8.9%	3	18,720	7	1,486	14	228,203	2
VI. 神経系の疾患	220,715,928	5.8%	8	30,163	5	2,609	10	84,598	5
VII. 眼及び付属器の疾患	127,931,803	3.4%	11	14,956	10	3,292	6	38,861	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	13,004,568	0.3%	17	3,375	17	789	16	16,482	20
IX. 循環器系の疾患	580,914,559	15.2%	2	62,818	2	4,662	4	124,606	3
X. 呼吸器系の疾患	207,255,996	5.4%	9	28,853	6	5,279	2	39,260	13
X I. 消化器系の疾患 ※	293,333,950	7.7%	6	56,480	3	5,830	1	50,315	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	80,983,753	2.1%	13	17,014	8	3,128	8	25,890	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	305,903,236	8.0%	5	39,200	4	4,249	5	71,994	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	223,679,017	5.9%	7	12,643	12	2,407	12	92,929	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,166,854	0.2%	18	240	19	107	19	57,634	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,087,796	0.0%	20	32	21	22	21	49,445	11
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,312,346	0.1%	19	471	18	143	18	37,149	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	1.6%	14	12,488	13	2,428	11	25,425	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	103,768,880	2.7%	12	7,610	14	2,120	13	48,948	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,515,238	0.6%	16	5,497	15	766	17	32,004	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	257,614	0.0%	21	179	20	40	20	6,440	21
合計	3,816,776,070			162,699		10,291		370,885	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

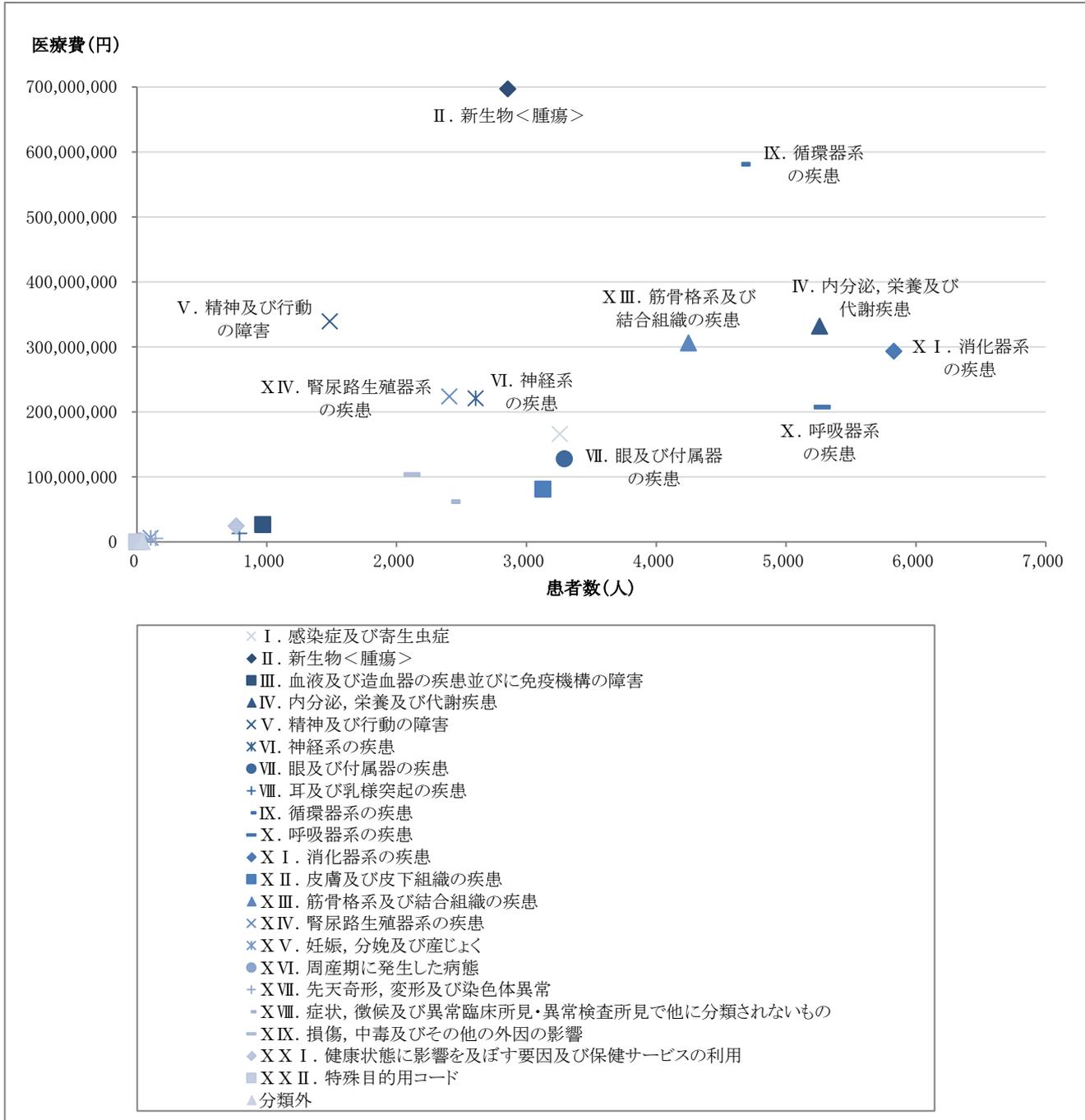
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下の通り疾病項目毎の医療費、及び患者数を示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

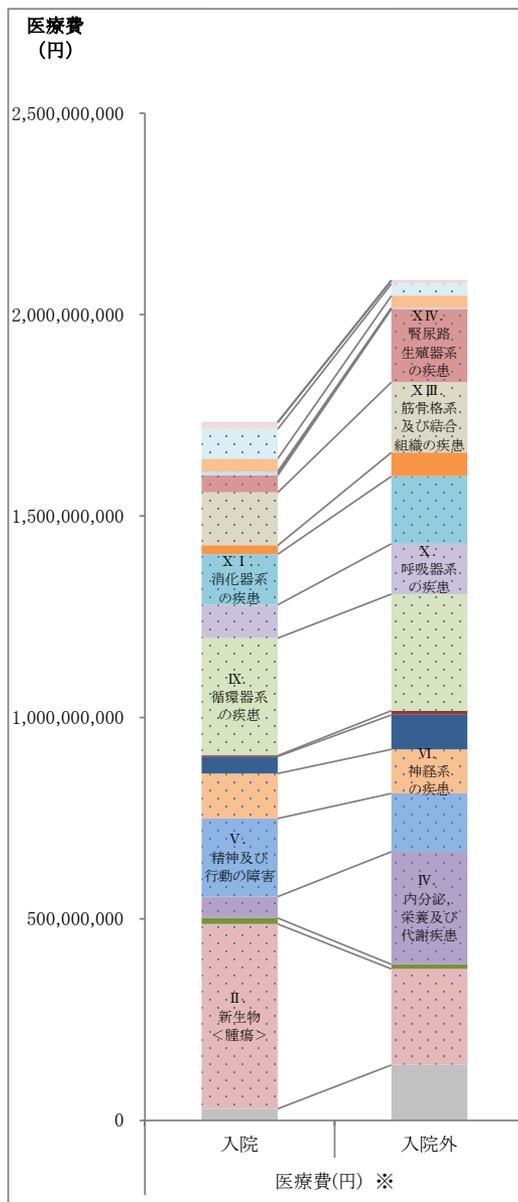
(2) 入院・入院外比較

倉吉市国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	28,479,439	137,398,786
II. 新生物<腫瘍>	458,535,083	238,278,315
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,338,002	11,168,815
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	52,376,999	279,528,662
V. 精神及び行動の障害	194,185,364	144,924,140
VI. 神経系の疾患	111,492,048	109,223,880
VII. 眼及び付属器の疾患	42,292,709	85,639,094
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,540,882	10,463,687
IX. 循環器系の疾患	291,683,413	289,231,147
X. 呼吸器系の疾患	82,406,296	124,849,700
X I. 消化器系の疾患 ※	125,508,016	167,825,934
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,961,328	59,022,425
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	131,470,503	174,432,733
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	42,159,651	181,519,366
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	5,155,806	1,011,048
X VI. 周産期に発生した病態 ※	896,360	191,436
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,483,233	1,829,113
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	31,760,724	29,970,203
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	73,924,937	29,843,943
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	16,538,818	7,976,420
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	59,320	198,294
合計	1,732,248,930	2,084,527,140



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

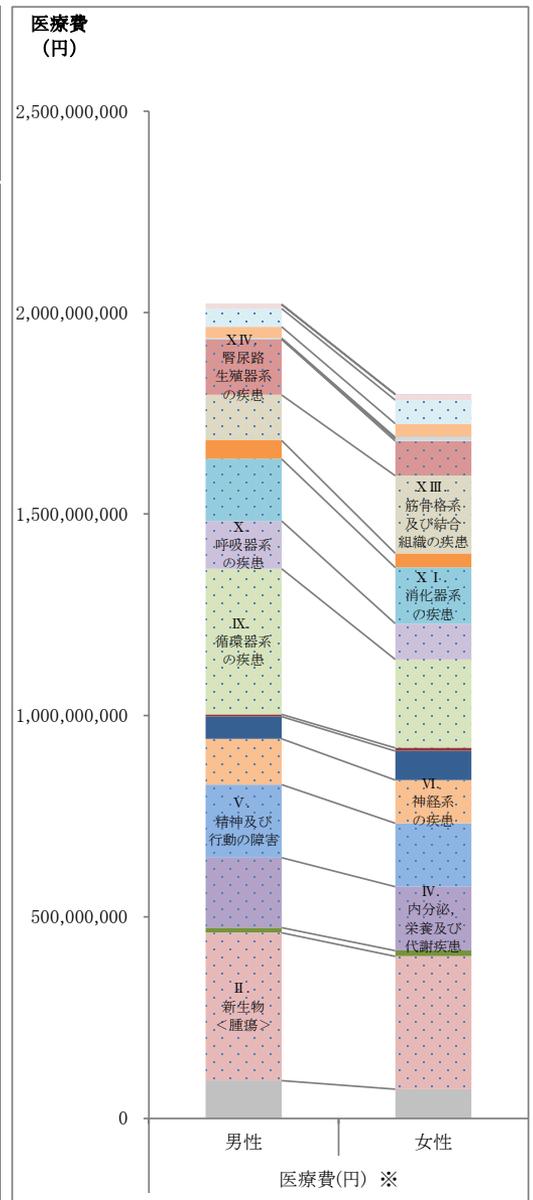
(3) 男性・女性比較

倉吉市国民健康保険における、疾病別医療費統計を男女別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	93,569,203	72,309,022
II. 新生物<腫瘍>	367,074,089	329,739,309
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,371,107	14,135,711
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	173,562,247	158,343,414
V. 精神及び行動の障害	181,652,417	157,457,087
VI. 神経系の疾患	113,340,442	107,375,487
VII. 眼及び付属器の疾患	55,527,028	72,404,775
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,451,747	7,552,821
IX. 循環器系の疾患	361,420,233	219,494,326
X. 呼吸器系の疾患	118,470,614	88,785,382
X I. 消化器系の疾患 ※	154,134,672	139,199,278
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	45,939,333	35,044,420
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	112,890,381	193,012,855
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	137,917,842	85,761,175
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	54,160	6,112,694
X VI. 周産期に発生した病態 ※	516,573	571,222
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,401,410	2,910,936
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	28,193,642	33,537,285
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	45,070,486	58,698,394
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,331,884	14,183,354
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	119,960	137,654
合計	2,020,009,470	1,796,766,600



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

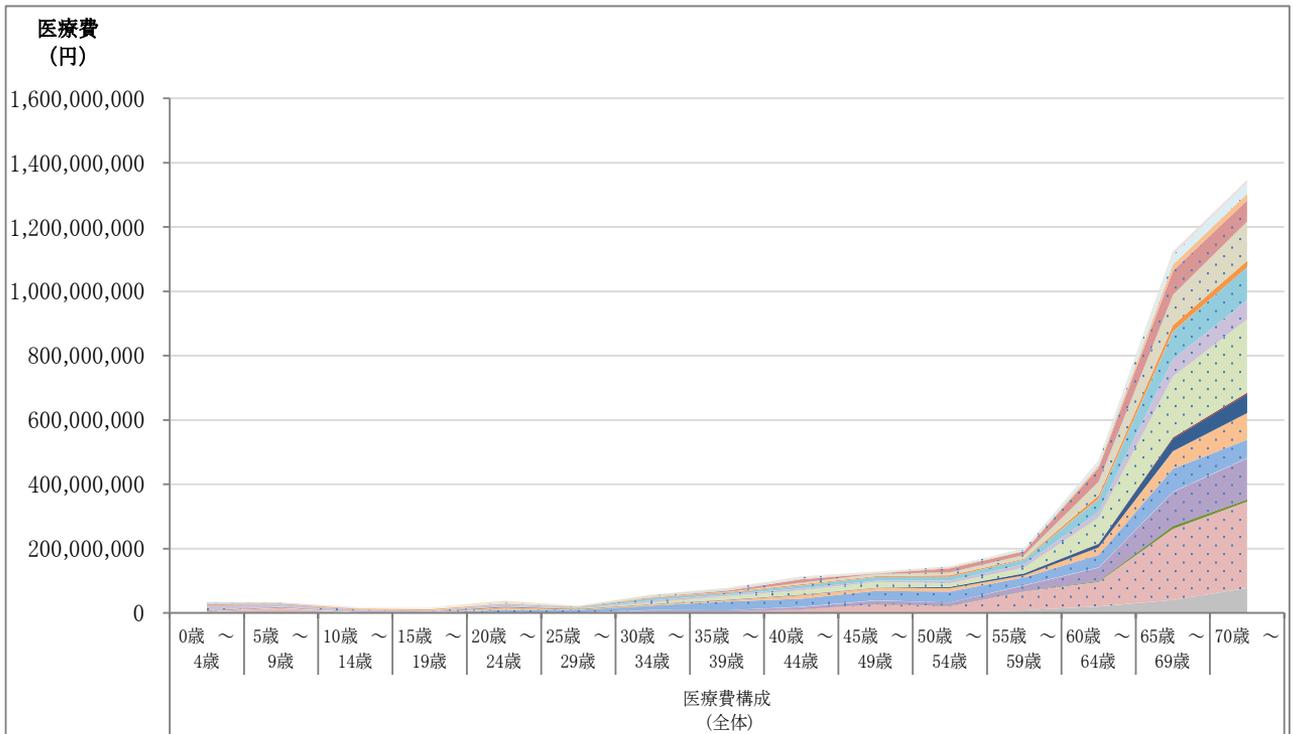
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(4) 年齢階層別比較

倉吉市国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)



■ 分類外
■ XXII. 特殊目的用コード
■ XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
■ XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
■ XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
■ XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
■ XVI. 周産期に発生した病態
■ XV. 妊娠、分娩及び産じよく
■ XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
■ XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
■ XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
■ XI. 消化器系の疾患
■ X. 呼吸器系の疾患
■ IX. 循環器系の疾患
■ VIII. 耳及び乳様突起の疾患
■ VII. 眼及び付属器の疾患
■ VI. 神経系の疾患
■ V. 精神及び行動の障害
■ IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
■ III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
■ II. 新生物<腫瘍>
■ I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

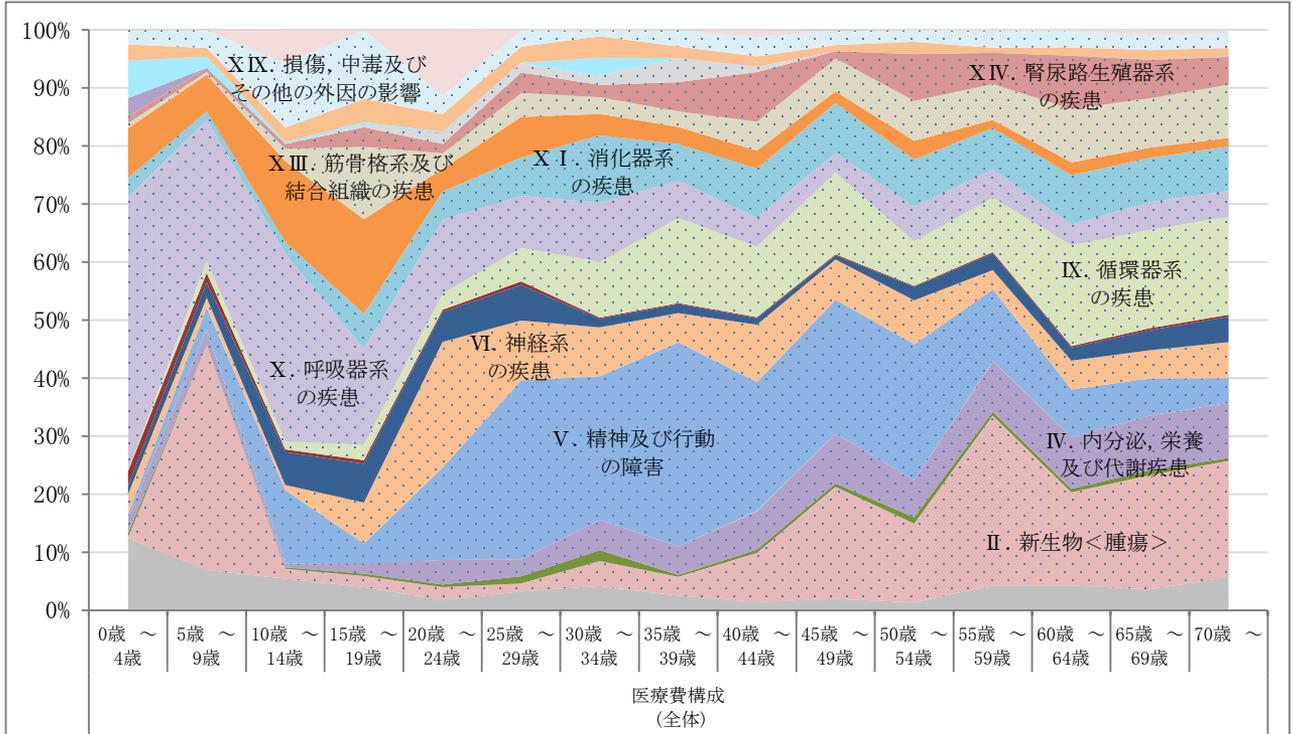
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



- 分類外
- XX II. 特殊目的用コード
- XX I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

倉吉市国民健康保険における疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	VI. 神経系の疾患
5歳～9歳	II. 新生物<腫瘍>	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	VI. 神経系の疾患
20歳～24歳	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	VII. 眼及び付属器の疾患
25歳～29歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患
40歳～44歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
50歳～54歳	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
55歳～59歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
60歳～64歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳～	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

3. 中分類による疾病別医療費統計

(1) 倉吉市国民健康保険全体

疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041	5.7%	1,058
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	5.4%	513
3	0901	高血圧性疾患	169,042,239	4.4%	3,496
4	0402	糖尿病	152,585,315	4.0%	3,181
5	1402	腎不全	152,173,790	4.0%	246
6	1113	その他の消化器系の疾患	142,877,816	3.7%	2,888
7	0903	その他の心疾患	134,486,982	3.5%	1,503
8	0606	その他の神経系の疾患	110,969,884	2.9%	2,318
9	0403	脂質異常症	110,481,393	2.9%	3,417
10	0105	ウイルス性肝炎	108,629,184	2.8%	825

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	169,042,239	3,496	34.0%
2	0403	脂質異常症	110,481,393	3,417	33.2%
3	0402	糖尿病	152,585,315	3,181	30.9%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	47,377,707	2,905	28.2%
5	1113	その他の消化器系の疾患	142,877,816	2,888	28.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	19,580,953	2,814	27.3%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	2,428	23.6%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	43,201,995	2,336	22.7%
9	0606	その他の神経系の疾患	110,969,884	2,318	22.5%
10	1110	その他の肝疾患	26,472,949	2,255	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	18,756,239	23	815,489
2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	61,269,395	88	696,243
3	0904 くも膜下出血	15,796,046	25	631,842
4	1402 腎不全	152,173,790	246	618,593
5	2105 特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	558,896	1	558,896
6	0208 悪性リンパ腫	39,439,526	74	532,967
7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	69,733,763	163	427,814
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	513	400,306
9	1502 妊娠高血圧症候群	2,434,530	7	347,790
10	0501 血管性及び詳細不明の認知症	7,621,890	22	346,450

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

4. 高額レセプトの件数及び医療費

(1) 高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは月間平均118件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均1億1,265万円程度となり、医療費全体の35.1%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月
A	レセプト件数(件)	14,282	13,671	13,896	14,137	13,788	13,670	13,410
B	高額レセプト件数(件)	109	96	120	117	115	129	126
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.9%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	334,613,810	297,358,230	327,565,590	320,044,010	315,300,820	324,893,190	324,666,340
D	高額レセプトの医療費(円) ※	108,638,900	87,944,840	119,253,970	106,126,940	107,006,320	120,886,140	122,386,090
E	その他レセプトの医療費(円) ※	225,974,910	209,413,390	208,311,620	213,917,070	208,294,500	204,007,050	202,280,250
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.5%	29.6%	36.4%	33.2%	33.9%	37.2%	37.7%

		平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	13,772	13,621	13,814	13,348	13,098	13,709	164,507
B	高額レセプト件数(件)	116	118	131	124	114	118	1,415
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	
C	医療費全体(円) ※	316,822,560	326,534,480	342,293,530	332,228,500	292,367,590	321,224,054	3,854,688,650
D	高額レセプトの医療費(円) ※	106,418,130	115,026,470	130,241,250	127,877,680	99,951,300	112,646,503	1,351,758,030
E	その他レセプトの医療費(円) ※	210,404,430	211,508,010	212,052,280	204,350,820	192,416,290	208,577,552	2,502,930,620
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.6%	35.2%	38.0%	38.5%	34.2%	35.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

(2) 高額レセプトの年齢階層別統計

高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	0	6,105,150	6,105,150	0.5%
5歳～9歳	0	12,383,830	12,383,830	0.9%
10歳～14歳	0	936,980	936,980	0.1%
15歳～19歳	0	580,080	580,080	0.0%
20歳～24歳	0	17,813,170	17,813,170	1.3%
25歳～29歳	529,870	1,851,470	2,381,340	0.2%
30歳～34歳	721,280	13,290,310	14,011,590	1.0%
35歳～39歳	0	24,860,630	24,860,630	1.8%
40歳～44歳	4,424,490	31,541,810	35,966,300	2.7%
45歳～49歳	0	55,796,220	55,796,220	4.1%
50歳～54歳	6,615,800	32,869,250	39,485,050	2.9%
55歳～59歳	14,487,180	61,470,710	75,957,890	5.6%
60歳～64歳	19,476,990	129,246,710	148,723,700	11.0%
65歳～69歳	27,935,750	410,967,050	438,902,800	32.5%
70歳～	72,810,020	405,043,280	477,853,300	35.4%
合計	147,001,380	1,204,756,650	1,351,758,030	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	0	3	3	0.5%
5歳～9歳	0	2	2	0.3%
10歳～14歳	0	1	1	0.2%
15歳～19歳	0	1	1	0.2%
20歳～24歳	0	4	4	0.6%
25歳～29歳	1	3	4	0.6%
30歳～34歳	1	9	9	1.4%
35歳～39歳	0	16	16	2.6%
40歳～44歳	1	12	13	2.1%
45歳～49歳	0	22	22	3.5%
50歳～54歳	3	16	19	3.1%
55歳～59歳	3	28	29	4.7%
60歳～64歳	10	57	66	10.6%
65歳～69歳	10	189	193	31.1%
70歳～	24	227	239	38.5%
合計	53	590	621	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳～4歳	0	6	6	0.4%
5歳～9歳	0	6	6	0.4%
10歳～14歳	0	1	1	0.1%
15歳～19歳	0	1	1	0.1%
20歳～24歳	0	16	16	1.1%
25歳～29歳	1	3	4	0.3%
30歳～34歳	1	17	18	1.3%
35歳～39歳	0	27	27	1.9%
40歳～44歳	7	38	45	3.2%
45歳～49歳	0	65	65	4.6%
50歳～54歳	6	43	49	3.5%
55歳～59歳	15	59	74	5.2%
60歳～64歳	18	133	151	10.7%
65歳～69歳	29	426	455	32.2%
70歳～	72	425	497	35.1%
合計	149	1,266	1,415	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の理由による保健サービスの利用者」「心臓の先天奇形」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等となり、患者数が多い疾病は、「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「脳梗塞」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後、腎移植後	3	26,251,010	1,433,080	27,684,090	9,228,030
2	1701	心臓の先天奇形	単心室症	1	5,263,190	3,040,700	8,303,890	8,303,890
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	5	39,744,060	0	39,744,060	7,948,812
4	1307	その他の脊柱障害	症候性胸腰椎側弯症, 変性側弯症	2	14,285,930	561,130	14,847,060	7,423,530
5	1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	1	7,394,270	0	7,394,270	7,394,270
6	0209	白血病	小児急性リンパ性白血病, 急性骨髄性白血病, 骨髄増殖性疾患	3	15,875,970	5,908,200	21,784,170	7,261,390
7	0904	くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	3	20,946,890	364,790	21,311,680	7,103,893
8	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	6,497,170	200,380	6,697,550	6,697,550
9	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 血管免疫芽球性T細胞リンパ腫, マントル細胞リンパ腫	7	40,524,910	3,176,060	43,700,970	6,242,996
10	1010	喘息	気管支喘息, 気管支喘息重症発作	2	9,733,870	1,718,210	11,452,080	5,726,040
11	0905	脳内出血	被殻出血, 脳皮質下出血, 脳幹部出血	18	87,540,180	2,452,520	89,992,700	4,999,594
12	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, B型慢性肝炎	18	6,767,680	77,991,930	84,759,610	4,708,867
13	1404	その他の腎尿路系の疾患	尿路感染症	1	4,112,970	208,250	4,321,220	4,321,220
14	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 腹部大動脈瘤, 食道静脈瘤破裂	9	35,081,380	2,855,480	37,936,860	4,215,207
15	0301	貧血	鉄欠乏性貧血, 貧血	2	7,618,290	369,920	7,988,210	3,994,105
16	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺扁平上皮癌	18	46,626,220	23,658,600	70,284,820	3,904,712
17	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房下外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	18	35,040,930	32,951,110	67,992,040	3,777,336
18	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 胸部中部食道癌	49	133,840,670	50,629,520	184,470,190	3,764,698
19	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	11	19,195,130	21,577,660	40,772,790	3,706,617
20	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌, 直腸カルチノイド	20	63,023,190	10,379,920	73,403,110	3,670,156

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 胸部中部食道癌	49	133,840,670	50,629,520	184,470,190	3,764,698
2	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折	29	58,174,930	6,855,440	65,030,370	2,242,427
3	0906	脳梗塞	多発性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 血栓性脳梗塞	26	50,889,830	6,381,130	57,270,960	2,202,729
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 統合失調感情障害	22	51,947,530	5,870,910	57,818,440	2,628,111
5	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 盲腸癌	20	51,220,070	16,120,470	67,340,540	3,367,027
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌, 直腸カルチノイド	20	63,023,190	10,379,920	73,403,110	3,670,156
5	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 非弁膜症性発作性心房細動	20	44,950,250	10,345,860	55,296,110	2,764,806
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 噴門癌	19	34,988,100	19,013,700	54,001,800	2,842,200
8	1113	その他の消化器系の疾患	兎径ヘルニア, 癒着性イレウス, 急性穿孔性虫垂炎	19	16,835,570	9,104,760	25,940,330	1,365,281
10	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, B型慢性肝炎	18	6,767,680	77,991,930	84,759,610	4,708,867
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺扁平上皮癌	18	46,626,220	23,658,600	70,284,820	3,904,712
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房下外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	18	35,040,930	32,951,110	67,992,040	3,777,336
10	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性心筋梗塞, 急性前壁中隔心筋梗塞	18	35,383,440	7,197,690	42,581,130	2,365,618
10	0905	脳内出血	被殻出血, 脳皮質下出血, 脳幹部出血	18	87,540,180	2,452,520	89,992,700	4,999,594
15	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫, 胆のう腺筋腫症, 副咽頭間隙腫瘍	16	21,784,040	6,947,800	28,731,840	1,795,740
15	0606	その他の神経系の疾患	低酸素性脳症, 睡眠時無呼吸症候群, 肘部管症候群	16	35,691,100	7,924,980	43,616,080	2,726,005
15	0704	その他の眼及び付属器の疾患	開放隅角緑内障, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	16	13,034,160	4,729,560	17,763,720	1,110,233
18	0402	糖尿病	2型糖尿病, 糖尿病, 糖尿病網膜症	14	30,170,140	7,998,580	38,168,720	2,726,337
19	1302	関節症	変形性膝関節症, 原発性股関節症, 続発性股関節症	13	30,609,900	3,236,360	33,846,260	2,603,558
19	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頰椎症性脊髄症, 頰椎後縦靭帯骨化症	13	29,182,110	7,921,260	37,103,370	2,854,105

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

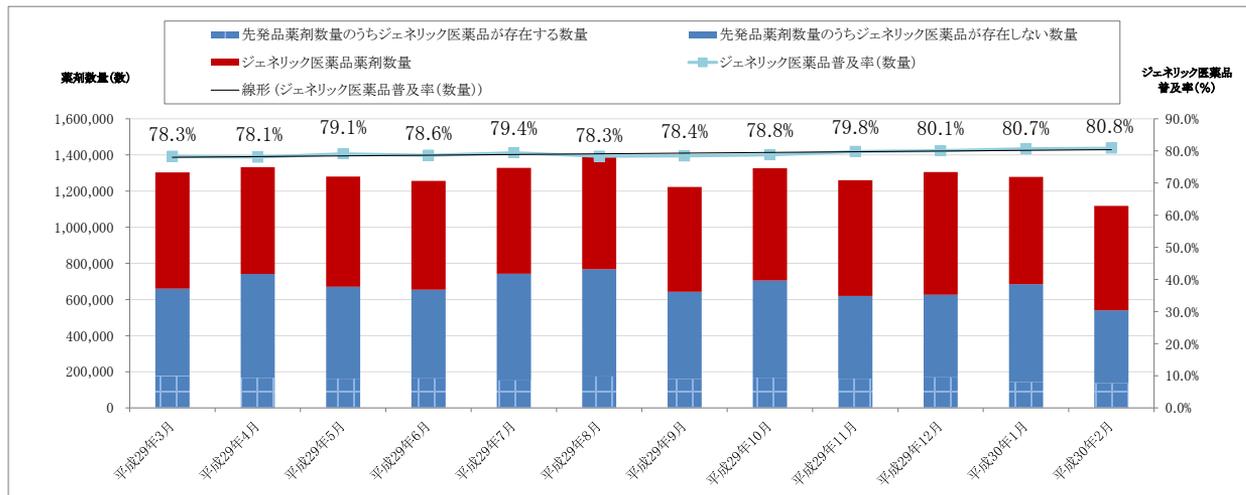
※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

5. ジェネリック医薬品普及率

(1) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は79.2%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)

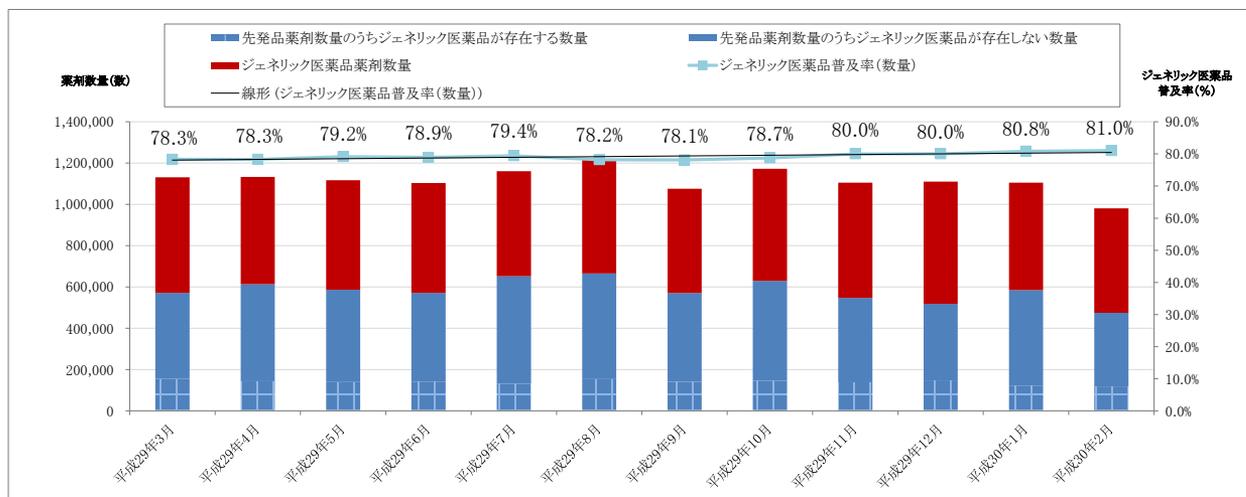


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

6. 健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下の通り「CKD診療ガイド2012」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

健診受診者数:人

				尿蛋白区分					未測定	計
				A1	A2	A3				
				(-)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
GFR区分 (mL/分/ 1.73㎡)	G1	正常または 高値	≥ 90	128	6	1	0	1	0	136
	G2	正常または 軽度低下	60 ~ 89	863	32	18	3	0	0	916
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ~ 59	155	7	2	5	2	0	171
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ~ 44	7	1	2	0	0	0	10
	G4	高度低下	15 ~ 29	0	0	0	0	0	0	0
	G5	末期腎不全	< 15	2	0	0	0	0	1	3
	未測定			294	40	37	1	0	0	372
計				1,449	86	60	9	3	1	1,608

IV		=14人	0.9%
III		=37人	2.3%
II		=193人	12.0%
I		=991人	61.6%
不明		=373人	23.2%

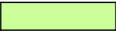
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

参考資料:社団法人日本腎臓学会「CKD診療ガイド2012」CKD の定義, 診断, 重症度分類 表2CKDの重症度分類

株式会社東京医学社 ISBN:978-4-88563-211-2

※上記資料を用いて、株式会社データホライゾンが作成した。

死亡・末期腎不全・心血管死亡発症のリスクを  を基準に    の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

7. 健康診査データによる糖尿病診断

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下の通り日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数 (HbA1c × 空腹時血糖)

健診受診者数: 人

		HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)					計	
		正常				糖尿病型		未測定
		～ 5.5%	5.6% ～	6.0% ～	6.5% ～			
空腹時血糖	正常	～ 99mg/dl	57	50	8	1	0	116
	正常高値	100mg/dl ～	10	27	14	0	0	51
	空腹時血糖異常	110mg/dl ～	5	20	11	6	0	42
	糖尿病型	126mg/dl ～	0	4	3	10	0	17
	未測定			719	451	150	62	0
計			791	552	186	79	0	1,608

糖尿病		=10人	0.6%
糖尿病型		=14人	0.9%
境界型		=36人	2.2%
正常型		=166人	10.3%
不明		=1,382人	85.9%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

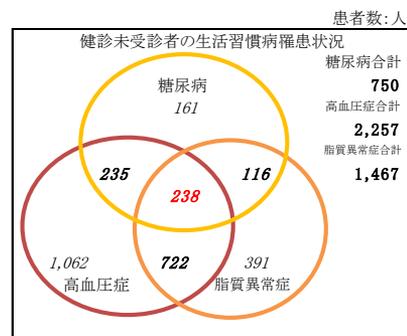
資格確認日…平成30年2月28日時点。

参考資料: 日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2016」

株式会社南江堂 ISBN:978-4-524-25857-4

8. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	238	62,591,650	108,182,120	170,773,770	717,537
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	235	107,535,410	142,475,310	250,010,720	1,063,875
	糖尿病・脂質異常症	116	25,345,200	39,857,150	65,202,350	562,089
	高血圧症・脂質異常症	722	122,042,180	229,330,530	351,372,710	486,666
	合計	1,073	254,922,790	411,662,990	666,585,780	621,236
1疾病患者	糖尿病	161	40,341,690	57,923,990	98,265,680	610,346
	高血圧症	1,062	203,244,130	343,755,140	546,999,270	515,065
	脂質異常症	391	56,494,980	95,526,730	152,021,710	388,802
	合計	1,614	300,080,800	497,205,860	797,286,660	493,982

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

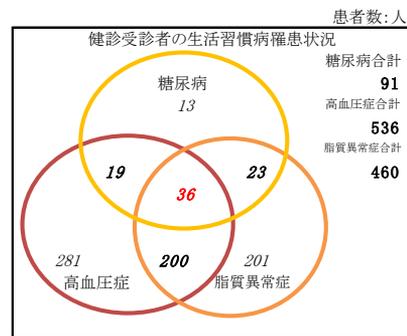
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	36	295,620	14,713,130	15,008,750	416,910
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	19	4,616,080	6,309,300	10,925,380	575,020
	糖尿病・脂質異常症	23	909,210	7,142,460	8,051,670	350,073
	高血圧症・脂質異常症	200	20,360,050	54,515,780	74,875,830	374,379
	合計	242	25,885,340	67,967,540	93,852,880	387,822
1疾病患者	糖尿病	13	1,665,560	2,735,770	4,401,330	338,564
	高血圧症	281	28,673,760	72,790,480	101,464,240	361,083
	脂質異常症	201	14,819,100	41,886,180	56,705,280	282,116
	合計	495	45,158,420	117,412,430	162,570,850	328,426

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

9. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の48.1%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の42.1%である。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	1,608	18.8%	1,487,484	63,015,510	64,502,994
健診未受診者	6,954	81.2%	25,961,301	276,120,828	302,082,130
合計	8,562		27,448,785	339,136,338	366,585,124

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	18	1.1%	772	48.0%	773	48.1%	82,638	81,626	83,445
健診未受診者	177	2.5%	2,916	41.9%	2,925	42.1%	146,674	94,692	103,276
合計	195	2.3%	3,688	43.1%	3,698	43.2%	140,763	91,957	99,131

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

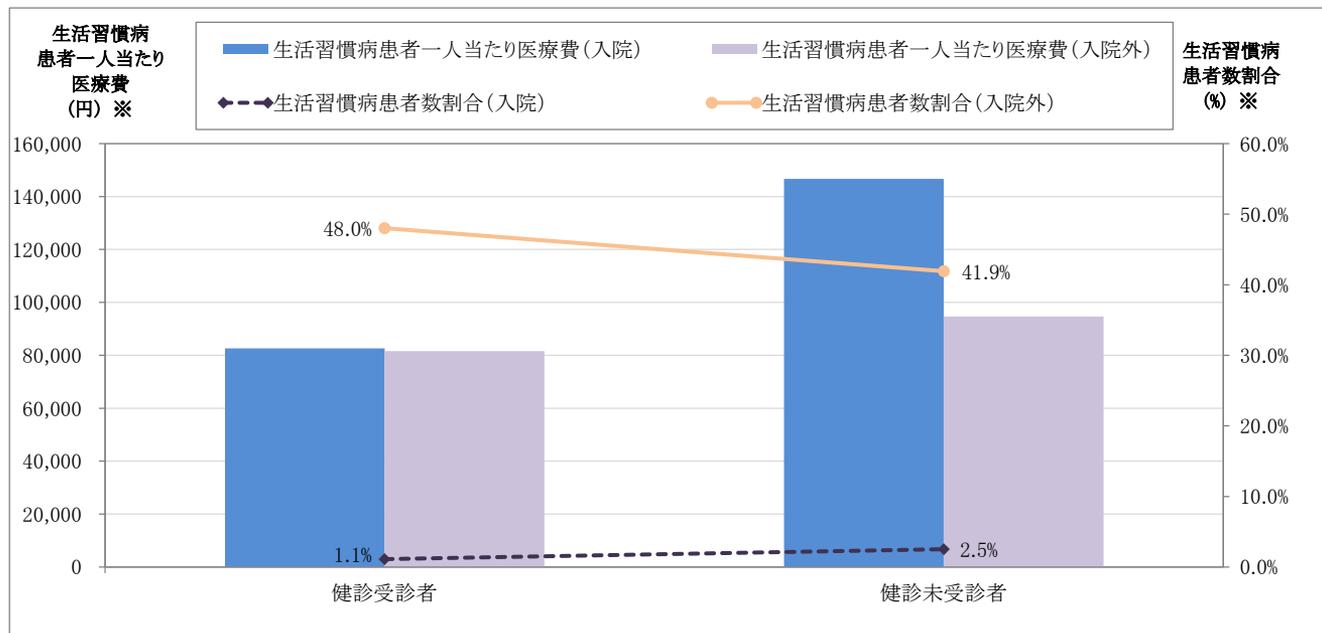
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

10. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較

平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	171	194,111	1,120,978	1,315,089	2	25	25
非対象者	情報提供(服薬無(質問))	751	191,804	2,241,534	2,433,338	2	67	67
	情報提供(服薬有(質問))	686	1,101,569	59,652,998	60,754,567	14	680	681

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	171	97,055	44,839	52,604
非対象者	情報提供(服薬無(質問))	751	95,902	33,456	36,318
	情報提供(服薬有(質問))	686	78,684	87,725	89,214

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

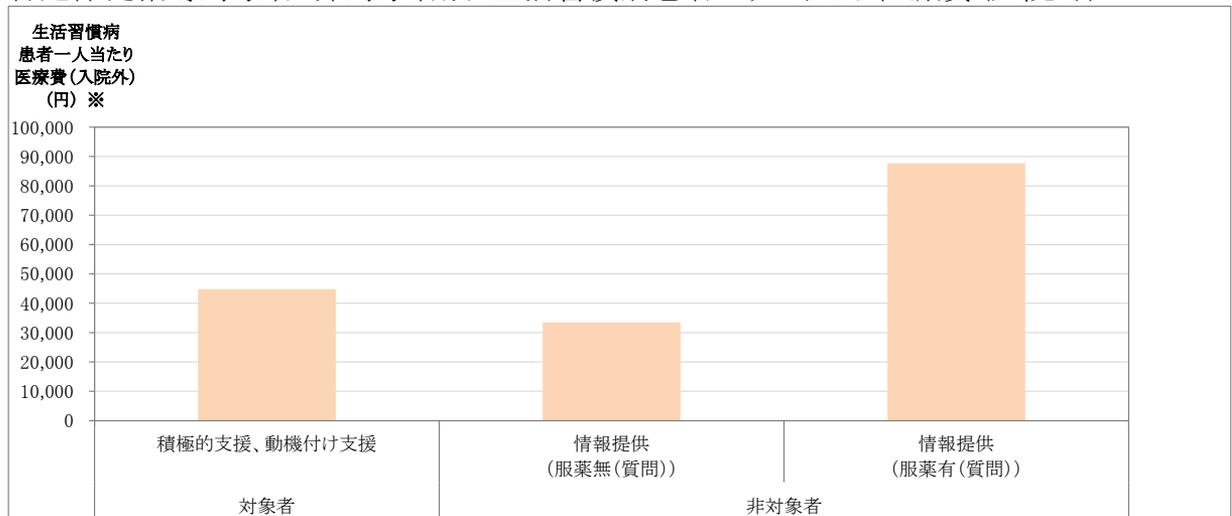
資格確認日…平成30年2月28日時点。

非対象者…健康診査受診における質問票の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。